

児童朝会 講話 ■令和4年12月12日

### No.23 「クリスマス 3」

校長先生の言葉は皆さん的心に届いていますか？

さて、先週のお題、ドイツ式じゃんけんは平等か？みなさんも、気づいていますように、イドをだすとグーとチョキに勝てます。2つに勝つのはずるい！というわけです。ただ、よく考えると、パーもイドとグーに勝ちます。2つに勝てます。じゃあ、パーとイドが有利かと思えますが、パーはチョキに負け、チョキはグーに負け…結局何が有利なのが難しくなります。

高学年になると、確率というものをならいますが、実はイドとパーは勝てる確率が高いのですが、じゃあその2つを出すと絶対勝てるかというとそうでもないので、難しいところです。

もう一つのお題、ドイツに関係する会社や人物もたくさん書いていただきありがとうございました。ベンツなどがすぐにでてきたのは、さすがですね。また、案外知られていなかつたのが、スポーツウェアの会社や音楽家です。アディダスやプーマ、ベートーベンやアインシュタインはドイツを代表する人物ですね。

さて、毎年この年末12月になりますと、クリスマスの雰囲気が高まってきます。テレビのCMなどでもクリスマスソングを聞かない日はないぐらいです。

そこで、みなさんは、クリスマスソングといえば、どんな曲を思い浮かべますか？ジングルベル、きよしこの夜なども有名ですが、校長先生は最近この「雪の華」もいいなと思っています。のちほど紹介しますね。

さて、今までお話ししてきましたように、クリスマスというのは冬至のお祭りなど、さまざまな行事が重なって、今の形になってきましたが、イエスキリストの誕生をお祝いするお祭りであるには間違ひありません。でもこの日本にはキリスト教の人は1%しかいないのです。実際クリスマス

の日にイエスキリストの誕生をお祝いする人はこの日本ではほとんどいないということです。

では、なぜクリスマスってこんなにはやっているのでしょうか。私たちはいったいなぜこんなにもりあがっているのでしょうか？クリスマスの何が楽しいのでしょうか？

まわりの人と少し聞き合ってみてください。

ケーキが食べられるからでしょうか？これもいろいろな説があるのですが、クリスマスケーキは、不二家というお菓子屋さんが宣伝したことが大きいです。

プレゼントがもらえるからでしょうか？これも以前お話しましたように、セントニコラスさんが、煙突からお金を投げ入れたのが始まりで、今ではイエス様の誕生を祝うことより、このサンタクロースのお祭りみたいに、この日本ではなっているようです。

イエスキリストとサンタクロースの関係ですが、キリストはキリスト教を始めた先生で、サンタクロースはその生徒みたいなものです。ほんとはイエス様をたたえるお祭りが、この日本ではサンタクロース様が来ることを祈るお祭りになっています。

でも、この日本風のクリスマスもとても素敵だと思います。というのも、サンタクロースがやっていることは、プレゼントを配るということですが、この誰かに何かをしてあげるという行動は、とても重要なのですが、普段そう簡単にはできないからです。

これがやりやすいということで、クリスマスはここまでやっているように思います。

さて、「誰かに何かをしてあげる」ことを漢字1文字、ひらがな2文字でなんて言うでしょうか？少し周りの人と聞き合ってみてください。

なんとそのこたえが、冒頭申し上げた「雪の華」

に歌われているのです。

この歌は、女の人が病気でだんだん弱っていき、それを恋人の男性が、雪の降る中、支えるという歌です。もともとは、中島美嘉さんが歌っていましたが、今日はこの人のカバーで聞いてみましょう。

「さて、誰かのためになにかを  
したいと思えるのが  
(　　) ということを知った」

ここに、あてはまる漢字1文字、ひらがな2文字を聞き合ってみてください。

そう、愛なのです。

クリスマスという行事は、プレゼントをあげたり、もらったりするのですが、それが「愛」なのです。そして、愛とは、誰かを好きになるという意味もありますが、このように、だれかに何かをしてあげたい、誰かを幸せにしてあげたい気持ちも愛というのです。

では、少し周りの人と、だれかに何かをしてあげたいということを聞き合ってみてください。

どうでしょう。なんだか心があたたくなったのではないか。皆さんのだれかを思いやる気持ちが、この学校全体をあたたくのです。これが日本でクリスマスがもりあがる理由じゃないかなあと校長先生は思っています。

それでは、今週のお題です。さきほど聞き合ったように、誰かに何かをしてあげたいことを、ボードに書きにきてください。

「○○に、■■してあげたい。」「○○が、■■になりますように。」という愛のメッセージをよろしくお願いします。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。